



玉江小学校だより

玉江の教育

ホームページURL <http://www.keinet.com/tamaes/>

令和5年12月発行
鹿児島市立玉江小学校
第 9 号

「金の鈴」の音を響かせながら ～「親子いっしょに読書の日」の取組に感謝～

玉江小学校 校長 佐々木 好彦

「学校だよりを読んでいます」たまに保護者の方からの反応があり、そんなことを励みに、毎月、このたよりの1ページ目に力を注いでいます。目指しているところは、本校でしか書けない内容、私でしか書けない事項を焦点化してより具体的に、そして、児童・教員・保護者・地域の方々の姿を入れながら……。本校の強みを極力、前面に、目指していることを分かりやすくなど、生みの苦しみを味わいつつ文面を構成しています。

何とか、毎月、結構長い文章を書くことに耐えている力は、本を読むことを続けていることがつながっているのかも？と最近思うようになってきました。教育の動向、学校経営（企業経営にも学びながら）、授業改善につながる書物類は、今の立場を全うしていくために欠かせません。しかし、堅い書物だけでは、息が詰まるので、文学やエッセイ等も楽しんでます。私事で大変恐縮ですが、現在手元には、原田マハさんの「本日は、お日柄もよく」がありますし、先日、小川 糸さんの作品を読み終え、優しい気持ちにさせてもらいました。その前までは青山美智子さんにはまって、発刊されている著書はほぼ読み終えています。



今でこそ、仕事柄、手元にいつも本があるような生活をしてしていますが、小学校時代は本を読むことが苦手でした。遊び回ったり、部活に時間をとられたりして、残念ながら、小学校・中学校時代のあの本が今でも心に深く残っていてというものがなく、後悔しています。

そんなこともあり、学校内を巡回するときには、図書室は欠かさず足を運ぶようにしています。入り口の正面にほぼ月替わりで、その時季に係る素敵な掲示物と共に特集コーナーが設置されています。学校図書館司書が子供たちを図書室に誘おうとする気持ちがよく伝わってきて、毎回、写真に収めています。

図書室を出て、最寄りの階段を降りていくとその踊り場にすべての学級の親子読書の様子が分かるコーナーがあります。読書の視点で校内を巡回すると、多くの学級でこの親子読書カードが掲示してあります。これは、「毎月23日は子どもといっしょに読書の日」として、継続して働きかけをしている取組です。



「わすれたっていいんだよ」という本に対し、1年児童が『『なんくるないさあ』とは、人をはげますことばとはじめてわかりました。こまっている人につかってみたいです。』と感想を書き、保護者が「父親の故郷の文化に触れる機会となりました。言葉のもつ力を本を通して学んでいるんだなと感じています。」とコメントをくださっています。

「教室は間違ところだ」の本に、2年児童が「今までのわたしは、まちがえることをこわがっていました。でも本を読んでまちがうことはいいことだと思いました。たくさんチャレンジします。」と感想。保護者は、「間違いを通して成長していくんだね。たくさんチャレンジして大きく成長するのが楽しみです。」と。

「ナイチンゲール」の伝記に対し、6年児童が「看護の世の中を変えたすごい人。やりたいことをやるナイチンゲールにあこがれます。(抜粋)保護者が「ナイチンゲールの想いがこうして今も看護の心として受け継がれて、今の医療があると思うとすごいことだと思いました。」とコメント。

本校には、「銀の鈴」という読み聞かせグループが精力的に活動していた時期があったことを聞いたことがあります。このグループ名は、鹿児島県立図書館長もされた椋鳩十さんの「お母さんの声は金の鈴」にちなんでつけられたということも聞きました。椋鳩十さんは、「声の中には必ず心があり、幼いころに母から読んでもらったお話は、金の鈴の音を立てて鳴り続け、あるときは優しく、温かく、あるとき強く、激しく、ときには子供をなぐさめ、励ます。」と言っておられます。

本校の親子読書カードの保護者のコメントに「金の鈴」の音を聴きながら、夢中になっている自分に気付きました。手間がかかりそうなことをこんなに継続して取り組んでくださる保護者の皆様の深い愛情に「本校の子供たちは、本当に幸せだ」と感じるひとときを階段の踊り場で、各学級の後方掲示板の前で過ごすことでした。

冬季休業中に本校の学校図書館は3日も開きます。先日配布された「とよかんだより」には、「図書室を暖かくして待っています」のコメントも。「読書の秋」といいますが、こたつの中で、ストーブに当たりながら、あったかい布団にくるまれて冬も読書にはもってこいの季節だと思います。親子読書で紹介されている面白そうな本を片手に、コーヒーをいただきながら豊かな時間をこの冬過ごそうと思っています。

12月号学校便り裏面

粘り強く走りぬいた 持久走大会



ラストスパート!!
県短グラウンドから玉江小の校庭へ

長い距離を自分のペースで走り通し、完走の喜びを味わった持久走大会が、12月9日に実施されました。昨年度から、県立短期大学の広いグラウンドをお借りして玉江小の校庭と県短のグラウンドを走るコースを設定しています。

前日までの練習では、鹿児島聾学校の友達も一緒に参加していただき、交流を深めることができました。

安全管理のボランティアや応援をしてくださったたくさんの保護者の皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。そして、自己ベストの樹立や完走など自分の目標に向けて練習の成果を生かしてがんばった子どもたちに心から拍手を送ります。



12月9日の午後から、PTA家庭教育充実研修会が玉江小学校の体育館で実施されました。オープニングの吹奏楽部による演奏から始まり、「情報端末機器の使い方について」という研究テーマのもと、研究発表・質疑応答、グループワーク、情報交換が行われました。玉江小PTA活動の特色ある取組や組織づくりの工夫などについても紹介させていただく大変貴重な機会となりました。

1月の主な行事予定

- 9日(火) 始業式、給食開始
清掃強化週間(～13日まで)
- 10日(水) クラブ活動
- 12日(金) 下校指導(全学年)
- 13日(土) 土曜授業
- 17日(水) 鹿児島学習定着度調査1日目(5年)
クラブ活動(3年クラブ見学)
- 18日(木) 鹿児島学習定着度調査2日目(5年)
スクールカウンセラー来校
- 19日(金) 伊敷中学校体験入学説明会(6年)
玉エコの日
- 22日(月) 学校給食週間(～26日まで)
- 23日(火) 親子読書の日
- 24日(水) 児童代表・保健/委員会活動
- 31日(水) クラブ活動
- 引き渡しカードは、1月12日(金)までに全員提出してください。



感動いっぱい!
鹿児島市音楽会

11月28日、川商ホール(第2ホール)で実施された鹿児島市小学校音楽会に4年3組の児童が学校の代表として出場しました。「君をのせて」の合奏と「いつだって!」の合唱を行いました。立派な態度で堂々と楽器の音色や歌声を響かせました。その日の夕方のMBCのニュースでも取り上げていただきました。

赤い羽根募金

広がり! 支え合いの輪
ご協力ありがとうございました

環境ボランティア委員会を中心に呼びかけをして「赤い羽根募金」をお願いしましたところ、全校で19,837円の募金が寄せられました。心よりお礼申し上げます。

立派な門松が完成しました



12月16日、根っこの会(おやじの会)の皆様による門松づくりが実施されました。

正月らしさを感じる機会の減少を感じる近年ですが、子どもたちや地域の方々に日本の伝統文化やお正月らしさを感じてほしいという願いのもと、雨の中での作業でしたが、お父さん方や先生方が、これまでの経験をもとに短時間でスムーズに作業を進めてくださいました。和気藹々と温かく楽しい雰囲気でも門松づくりが行われました。

受賞・入賞 おめでとうございます

第25回南九州市かわなべ青の俳句大会

- 【特選】 3年 脇黒丸 優斗
「貝拾い ぼくより本気 パパとママ」
3年 新井 真
「花火の夜 家族みんなで やねの上」
- 【入選】 2年 木下 朝陽
「台風がくる日の夕がた 空赤い」
3年 池之上 愛花
「おぎおんさあ かけ声たいこ 汗いっぱい」
4年 大迫 樹生
「川あそび ぼくは石から 歴史知る」
4年 古別府 結莉
「つるばかり のびてさかない 何顔だ」

明るい選挙啓発標語コンクール

- 【優秀賞】 6年 原田 岳
「投票は みんなで作る 国作り」

第51回J A共済小・中学生交通安全ポスターコンクール

- 【佳作】 4年 向吉 優奈

情報モラル啓発に関する標語作品

- 《小学校標語の部》
【優秀賞】 5年 早田 璃旺斗
- 《PTA会員標語の部》
【優秀賞】 平石 亜里沙 様 (1年保護者)

